

## A I システム科

## 機械学習基礎

|      |       |     |    |      |   |    |        |     |    |    |   |  |
|------|-------|-----|----|------|---|----|--------|-----|----|----|---|--|
| 対象   | 1年次   | 開講期 | 後期 | 区分   | 必 | 種別 | 講義     | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |  |
| 担当教員 | 企業担当者 |     |    | 実務経験 | 有 | 職種 | IT関連職種 |     |    |    |   |  |

## 授業概要

機械学習の基本を学び、社会でどのように活用されているかを理解します。技術を学ぶことや技術力を身に着けることは重要です。しかし、それらは活用されて初めて社会的な価値（意味）を持ちます。本授業では、機械学習を活用しどのような価値を生み出すかを意識しながらプロトタイピングしたり、社会での事例を分析したりします。

## 到達目標

機械学習を活用する上で必要な考え方やデータについて理解する。社会で活用されている機械学習の事例について理解できる視点を持つ。技術を活用する際に、どんな周辺知識や経験が必要かを理解する。

## 授業方法

ハンズオンを中心に手を動かしながら、AI・機械学習を理解してもらう授業です。技術と社会・ビジネスを結び付けながら、どんな課題解決や価値創造をしていくかを考えるような講義にしていきます。

## 成績評価方法

課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

## 履修上の注意

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

## 教科書教材

## 配布資料

| 回数  | 授業計画           |
|-----|----------------|
| 第1回 | 機械学習の仕組み・基本    |
| 第2回 | 機械学習でプロトタイピング1 |
| 第3回 | 機械学習でプロトタイピング2 |

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 第 4 回  | 機械学習でプロトタイピング3  |
| 第 5 回  | 機械学習でプロトタイピング4  |
| 第 6 回  | 業務やビジネスの基本      |
| 第 7 回  | 機械学習の実践         |
| 第 8 回  | 機械学習の活用1        |
| 第 9 回  | 機械学習の活用2        |
| 第 10 回 | 機械学習の活用3        |
| 第 11 回 | 機械学習の活用4        |
| 第 12 回 | 活用例のリサーチ&分析 (1) |
| 第 13 回 | 活用例のリサーチ&分析 (2) |
| 第 14 回 | AIフェアネスについて     |
| 第 15 回 | ゲスト講義           |